

やすらぎ

人と人をつなぐ月刊総合誌



2004年 1月号 / 250円

編集部より	2
「クルアーン」	3
こわれた壺 「クルアーンを誦（よ）む」	5
「祈りに支えられて」	8
ドウア（祈り）のある毎日へ	9
今月のハディース 『手と口の災い 「第3回」』	10
「子供をもうけること」	12
聖クルアーンと科学 「胎児の発生の過程（2）」	13
預言者ムハンマドを語る 「預言者たちの特性」	14
リサーレイヌール「アッラーと来世を信ずることに快適さ」	16
映画から考える 『「ガタカ」GATTACA』	17
「言葉を越えた夜 第2回」	19
「食パンテレビ」	21
心のうた 「おお、預言者よ」	22
詳しく学んでみましょう 『グスル「大浄」第2回』	23
「なぜ私たちはイバダ（信仰行為）を行うのか？」	24
「偏見」	26
サハーバ物語「アブ タルハ 庭園をアッラーに献ず」	27
「預言者ムハンマドを語る」を読んで	28



創造なされる御方、あなたの主の御名において読め

「読め！」 - 小誌今月号の表紙を飾るアラビア書道で書かれている言葉です。

天使ジブリールを通じて預言者ムハンマドになされたクルアーンの啓示は「読め、『創造なされる御方、あなたの主の御名において。一凝血から、人間を創られた』」(凝血〔アル・アラク〕章 96/1-2 節)という言葉から始まりました。

7世紀に啓示・編纂されて以来、一語一句たりとも変更が加えられていないこの聖典はアラビア語原典のみが正式な「クルアーン」とみなされます。イスラームの礼拝ではクルアーンの章句を含む一定の文句をアラビア語で唱えなければなりませんから、母語がなんであれムスリムであればある程度のアラビア語学習を行わなければなりません。ムスリムとなった日本人が直面する困難の一つがこれです。なんとか礼拝に必要な分だけカタカナ読みで覚えてもその後が続かなかったり、日本語訳があっても意味が難解で投げ出してしまうたり・・・

ある新聞に、クルアーンの朗誦に関して、様々なハディースを引用しながら以下のように述べている記事がありました。

「クルアーンを読誦すると天使達やサキーナ（聖霊という形をとった神の臨在を表わす）がそれを聴くために、天から地上へ降りてくる。それを誦み、その命に従い、生きる者達

に、太陽よりもさらに耀く冠を被せられるのだ。さらにこの者は地獄へ行く状況にある親戚の者達に執り成しの原因となる。そうであるなら、なぜ私達は聖なるクルアーンを学ぼうとしないのであろうか？なぜ命令を実行し、この世とあの世の幸福を手に入れることを望まないのであろうか？この事について、まず始めに子ども達に留意すべきであるが、これを始めるにあたって、年齢制限はない。」

なぜ私たちは労を厭い、面倒くさがってクルアーンを読もうとしないのでしょうか。このような素晴らしい報奨があると聞かされても気に止めず、読まずにいいものなのでしょうか・・・

最後に、アラビア語を母国語とせず労苦して読誦に努める私たちの励みともなるハディースを紹介しておきます。

「み使いは『クルアーンの読唱に熟達した者は、気高くて敬虔な記録天使と会いまみえる。(一方)それに口ごもる者は刻苦勉励することで、二倍の報償が得られる』と申されました。」(サヒーフ・ムスリムより)





「預言者ムハンマドを語る」を読んで

この本は“Sonsuz Nur”というトルコ語の本が訳されたもので、その題名を訳すと永遠の御光とでもいうのでしょうか、1400年という時を超え輝きつづけている預言者（彼の上に平安あれ）のお話です。英語（Prophet Muhammad: Aspects of His Life）やアラビア語をはじめ多くの言語にも翻訳されています。著者の方は人の心を捉える上手な書き方をされていて（訳した方も上手なのですが）終始感動で胸がいっぱいになりました。誰かに「預言者（彼の上に平安あれ）ってどんな人だったの？」と聞かれて困ったときは、この本を渡すことをお勧めします。預言者の生い立ちから、風格、知性など、重要なことが順序よくきれいにまとまっていると思いました。今回はその本の第一章から、一部分を抜粋してみたいと思います。

...預言者ムハンマドは孤児としてお育ちになった。孤児であるということがどういうものか知っていたからこそ、慈愛溢れる父親のように振舞われた。貧しさを味わわれたからこそ、支配下の人々の状態を配慮し、それにより振舞われた。預言者の道徳心の中でも孤児と貧者に出を差し伸べ、彼らに目をかけるという心は預言者自身が育った環境に育まれたものである。

「彼は孤児のあなたを見つけられ、庇護されたではないか。彼はさ迷っていたあなたを見つけて導きを与え、また貧しいあなたを見つけて裕福にされたではないか。だから孤児を虐げてはならない。請う者を撥ねつけてはならない。」（朝章 93 / 5～6, 8～10）

このお方は父を失うだけでなく、早い年齢において母をも失われた。マディーナにある父親の墓を訪れたかえりにアブワの村で、25歳か26歳で亡くなった。預言者はたったの6歳であられた。このお方は父親、母親なしで残される痛みを学んだ。人々に全てを教え、またあらゆる面で手本となるために、まずご自身が何もかも経験しなければなかつたのである。

続く...

国内： 1ヶ月 250円、 6ヶ月 1300円、 1年 2500円

国外： 1ヶ月 300円、 6ヶ月 1600円、 1年 3000円

郵便振替口座番号： 00140-4-574489 **口座名義：** Yasuragi

皆様のご意見、ご感想、ご質問をこちらのコーナーまで心よりお待ちしております

<http://www.yasuragiweb.com>

yasuragi_nihon@hotmail.com